



## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月9日

上場会社名 株式会社京三製作所

（コード番号 6742 東証・大証第1部）

（URL <http://www.kyosan.co.jp>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 西川 勉

問合せ先責任者 役職名 執行役員経理部長 氏名 宮崎 和明

TEL : (045) 503 - 8106

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 （内容）税金費用の計上基準等  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

#### （1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	35,309	8.8	1,133		1,070		527	
18年3月期第3四半期	38,702	9.5	1,360		1,341		748	
（参考）18年3月期	64,087		1,140		1,300		565	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	8	41		-
18年3月期第3四半期	11	93		-
（参考）18年3月期	8	45	8	41

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### 〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期は、信号システム事業においては、今期第142期売上予定のJRおよび民鉄向けATS、ATC設備、ならびに公民鉄向け各種信号設備の売上が例年に増して第4四半期に集中することから、当第3四半期までの売上高は25,771百万円（前年同期比18.1%減）に止まっております。

電気機器事業においては、主力製品であります産業機器用電源のうち、デジタル家電向けの液晶製造装置用電源装置の需要が減少する一方、半導体製造装置用電源装置が大幅に増加したことから、当第3四半期までの売上高は9,537百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

この結果、事業全体での当第3四半期までの売上高は35,309百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

損益面につきましては、信号システム事業における道路交通管制システムの市場環境の一層の激化による採算性の低下および売上の第4四半期への極端な集中などにより、当第3四半期までの損益は経常損失1,070百万円（前年同期は1,341百万円の損失）、純損失527百万円（前年同期は748百万円の損失）となりましたが、当第3四半期までの業績につきましては、売上の例年同様の期末集中を織り込んだ予定通りの推移となっております。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	79,788	31,504	39.4	501 01
18年3月期第3四半期	78,602	32,272	41.1	514 55
(参考)18年3月期	80,599	33,751	41.9	537 59

(注)18年3月期第3四半期および18年3月期につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	72	218	1,564	6,861
18年3月期第3四半期	2,288	631	508	5,785
(参考)18年3月期	4,070	1,467	2,234	5,004

## 〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期の総資産は前連結会計年度末比811百万円減少し、79,788百万円となりました。

主な増減としましては、流動資産では現金および預金が444百万円増加、たな卸資産が7,297百万円増加し、受取手形および売掛金が8,571百万円減少しました。固定資産では投資有価証券が時価評価などにより1,523百万円減少しました。流動負債では支払手形および買掛金が326百万円減少し、短期借入金は長期借入金より振り替えた1年以内返済予定の金額が大幅に減少したため2,476百万円減少しました。固定負債では長期借入金が4,483百万円増加しました。

また、当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは売上債権の減少による収入などにより、72百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の払戻による収入などにより、218百万円のプラスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入などにより1,564百万円のプラスとなりました。

この結果、現金および現金同等物は前連結会計年度末比1,856百万円増加し、6,861百万円となりました。

## 3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	62,000	2,800	1,400

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 22円32銭

(参考)

平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり配当金	
				期 末	年 間
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	56,000	2,300	1,400	6 50	10 00

〔業績予想に関する定性的情報等〕

通期の業績予想につきましては、平成 18 年 11 月 9 日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、当社は平成 19 年 9 月 3 日をもちまして会社創立 90 周年を迎えます。つきましては、株主の皆様の長年にわたるご支援に対して感謝の意を表するため、平成 19 年 3 月期末配当 3 円 50 銭に加えて、3 円の創立 90 周年記念配当を実施する予定です。詳細につきましては、本日発表しております「創立 90 周年記念配当に関するお知らせ」をご覧ください。

- \* 業績予想につきましては、現時点で把握可能な情報に基づき、合理的と判断した前提により作成しておりますが、多様なリスクや不確定な要因を含んでおり、実際の業績などは、記載の内容と異なる可能性があることを予めご承知おき下さい。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成 18 年 12 月 31 日)	前年同四半期 (平成 17 年 12 月 31 日)	増 減	前連結会計年度 (平成 18 年 3 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)					
流 動 資 産		52,361	51,914	446	52,501
現金及び預金		7,703	8,167	463	7,259
受取手形及び売掛金		16,239	16,843	603	24,811
たな卸資産		26,578	24,935	1,642	19,280
繰延税金資産		1,272	1,593	321	1,027
その他		576	385	191	156
貸倒引当金		9	10	1	34
固 定 資 産		27,426	26,688	738	28,098
有形固定資産		8,302	8,250	51	8,613
建物及び構築物		2,417	2,495	78	2,536
土地		3,920	3,938	17	3,928
その他		1,963	1,816	147	2,148
無形固定資産		587	429	157	542
投資その他の資産		18,537	18,007	529	18,943
投資有価証券		12,765	13,779	1,014	14,288
関係会社株式		2,533	2,365	168	2,505
繰延税金資産		2,001	639	1,362	888
その他		1,337	1,294	43	1,330
貸倒引当金		101	71	29	70
資 産 の 部 合 計		79,788	78,602	1,185	80,599

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

期 別 科 目	当四半期 (平成 18 年 12 月 31 日)	前年同四半期 (平成 17 年 12 月 31 日)	増 減	前連結会計年度 (平成 18 年 3 月 31 日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
流 動 負 債	32,492	36,395	3,902	34,817
支払手形及び買掛金	15,397	14,871	525	15,723
短期借入金	10,901	16,931	6,030	13,378
その他	6,193	4,591	1,601	5,715
固 定 負 債	15,791	9,716	6,075	11,794
長期借入金	7,546	1,234	6,312	3,063
退職給付引当金	7,744	7,979	235	8,186
役員退職慰労引当金	186	495	309	539
その他	314	6	307	5
負債の部合計	48,283	46,111	2,172	46,612
(少数株主持分)				
少数株主持分		218		235
(資本の部)				
資 本 金		6,270		6,270
資 本 剰 余 金		4,667		4,667
利 益 剰 余 金		16,284		17,598
その他有価証券		5,159		5,327
評価差額金		67		66
為替換算調整勘定		41		45
自 己 株 式				
資本の部合計		32,272		33,751
負債、少数株主持分 及び資本の部合計		78,602		80,599

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円)

科 目	期 別	当四半期 (平成 18 年 12 月 31 日)	前年同四半期 (平成 17 年 12 月 31 日)	増 減	前連結会計年度 (平成 18 年 3 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
(純資産の部)					
株 主 資 本		27,445			
資 本 金		6,270			
資 本 剰 余 金		4,625			
利 益 剰 余 金		16,597			
自 己 株 式		47			
評 価 ・ 換 算 差 額 等		3,973			
その他有価証券評価差額金		4,036			
為 替 換 算 調 整 勘 定		62			
少 数 株 主 持 分		85			
純 資 産 の 部 合 計		31,504			
負 債、純 資 産 の 部 合 計		79,788			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円、%)

科 目	当四半期 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)		前年同四半期 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)		増 減		前連結会計年度 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	35,309	100.0	38,702	100.0	3,393	8.8	64,087	100.0
売 上 原 価	30,149	85.4	33,332	86.1	3,183	9.6	54,057	84.4
売 上 総 利 益	5,160	14.6	5,370	13.9	209	3.9	10,029	15.6
販売費及び一般管理費	6,294	17.8	6,730	17.4	436	6.5	8,888	13.8
営業損失( )又は 営業利益	1,133	3.2	1,360	3.5	226		1,140	1.8
営業外収益	307	0.9	302	0.8	5	1.8	502	0.7
営業外費用	244	0.7	284	0.8	39	13.9	343	0.5
経常損失( )又は 経常利益	1,070	3.0	1,341	3.5	271		1,300	2.0
特別利益	77	0.2			77			
特別損失	19	0.1	32	0.1	13		327	0.5
税金等調整前四半期純損失( ) 又は税金等調整前当期純利益	1,012	2.9	1,374	3.6	362		972	1.5
税金費用	335		614		278		401	
少数株主損失( ) 又は少数株主利益	149		11		137		5	
四半期純損失( ) 又は当期純利益	527	1.5	748	1.9	221		565	0.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結剰余金計算書

(単位 百万円)

期別 科目	前年同四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
	金額	金額
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	4,667	4,667
資本剰余金四半期末(期末)残高	4,667	4,667
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	17,551	17,551
利益剰余金増加高		565
当期純利益		565
利益剰余金減少高	1,267	518
配当金	439	439
取締役賞与	78	78
四半期純損失	748	
利益剰余金四半期末(期末)残高	16,284	17,598

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	6,270	4,667	17,598	45	28,490	5,327	66	5,261	235	33,987
当四半期変動額										
剰余金の配当			439		439					439
利益処分による 役員賞与			34		34					34
四半期純損失			527		527					527
自己株式の取得				1	1					1
資本剰余金の取崩し		41			41					41
株主資本以外の 当四半期変動額(純額)						1,290	3	1,287	150	1,437
当四半期変動額合計		41	1,001	1	1,045	1,290	3	1,287	150	2,482
平成18年12月31日残高	6,270	4,625	16,597	47	27,445	4,036	62	3,973	85	31,504

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	期 別	当四半期	前年同四半期	前連結会計年度
		(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)	(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)	(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
	税金等調整前四半期純損失( ) 又は税金等調整前当期純利益	1,012	1,374	972
	減価償却費	664	655	847
	売上債権の増減額(増加: )	8,570	5,962	2,008
	たな卸資産の増減額(増加: )	7,292	2,119	3,538
	仕入債務の増減額(減少: )	352	1,587	2,562
	法人税等の支払額	599	841	1,166
	その他	94	1,582	675
	営業活動によるキャッシュ・フロー	72	2,288	4,070
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
	定期預金の預入による支出	167	617	632
	定期預金の払戻による収入	1,582	135	276
	投資有価証券の取得による支出	677	14	309
	投資有価証券の売却・償還による収入		499	499
	有形固定資産の取得による支出	461	682	1,169
	その他	57	47	131
	投資活動によるキャッシュ・フロー	218	631	1,467
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
	短期借入金の純増減額(減少: )	2,414	312	3,216
	長期借入れによる収入	5,000	70	2,170
	長期借入金の返済による支出	5,407	449	746
	配当金の支払額	439	439	439
	その他	3	1	2
	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,564	508	2,234
	現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2	0
	現金及び現金同等物の増減額(減少: )	1,856	1,149	368
	現金及び現金同等物期首残高	5,004	4,636	4,636
	現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	6,861	5,785	5,004

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

	当四半期(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	25,771	9,537	35,309		35,309
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	60	1,258	1,318	(1,318)	
計	25,832	10,795	36,627	(1,318)	35,309
営業費用	26,278	9,772	36,050	392	36,443
営業利益又は損失( )	446	1,023	577	(1,711)	1,133

(単位 百万円)

	前年同四半期(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	31,451	7,250	38,702		38,702
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	163	1,679	1,842	(1,842)	
計	31,614	8,930	40,544	(1,842)	38,702
営業費用	31,823	8,322	40,145	(82)	40,062
営業利益又は損失( )	208	608	399	(1,759)	1,360

(単位 百万円)

	前連結会計年度(自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	53,254	10,832	64,087	-	64,087
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	203	2,212	2,416	(2,416)	-
計	53,458	13,045	66,503	(2,416)	64,087
営業費用	51,113	11,903	63,016	(70)	62,946
営業利益	2,344	1,142	3,486	(2,345)	1,140

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
 3. 各事業の主な製品  
 (1) 信号システム事業.....列車運行管理システム、列車保安制御システム、交通管制システム  
 (2) 電気機器事業 .....半導体応用機器  
 4. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門等に係る費用であります。

## 2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 3. 海外売上高

当四半期（自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日）

（単位 百万円）

	アジア	その他	計
海外売上高	4,849	279	5,129
連結売上高			35,309
連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.7%	0.8%	14.5%

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

（1）アジア・・・・・・・・台湾、中国、韓国など

（2）その他・・・・・・・・ベネズエラなど

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前年同四半期（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日）

（単位 百万円）

	アジア	その他	計
海外売上高	5,870	1,185	7,055
連結売上高			38,702
連結売上高に占める 海外売上高の割合	15.2%	3.0%	18.2%

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

（1）アジア・・・・・・・・台湾、シンガポール、韓国など

（2）その他・・・・・・・・アメリカなど

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前連結会計年度（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日）

（単位 百万円）

	アジア	その他	計
海外売上高	7,938	1,243	9,182
連結売上高			64,087
連結売上高に占める 海外売上高の割合	12.4%	1.9%	14.3%

（注）1．地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

（1）アジア・・・・・・・・・・台湾、中国、シンガポールなど

（2）その他・・・・・・・・・・アメリカなど

2．海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。